

カリキュラム区分	4カリ			シラバス区分	学部生			
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	172	2年	後期	臨床検査学科	必修	疫学（共通） Epidemiology	30	2
担当教員								
鳥居 順子	岡田 克俊*	丸山 広達*						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
○	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
○	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
疫学は人間集団の健康事象発現に関する法則性を見いだす科学であり、疫学的な調査方法、解釈のしかた等を学び、実践活動に疫学的考え方を生かせるようになる。								
疫学的調査、研究方法、解釈にあたって必要な指標や既存の知識、疫学の効用と限界、感染症の疫学と慢性疾患の疫学の相異点、個々の健康事象についての疫学等について学ぶ。								
到達目標（授業目標）								
疫学指標を説明できる。								
疫学指標を算出できる。								
主な研究デザインとその長所短所を説明できる。								
各種バイアスとその調整法を説明できる。								
生活習慣病と感染症の疫学知見を述べられる。								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	疫学概念〔疫学とは、疫学の歴史、最近の事象についての例〕（鳥居）							
2回	集団の健康事象の指標（1）〔頻度の測定（率と比、罹患率と有病率、死亡率と年齢調整）〕（鳥居）							
3回	集団の健康事象の指標（2）〔頻度の比較（相対危険、寄与危険、オッズ比、寄与危険割合・人口寄与危険・人口寄与危険割合）〕（鳥居）							

4回	対象の選択、信頼性と妥当性〔分母と分子、標本抽出、信頼性と妥当性〕（鳥居）								
5回	バイアスと交絡〔誤差とバイアス、交絡因子とその制御〕、因果関係〔関連と因果、因果関係の判定〕（鳥居）								
6回	スクリーニング〔スクリーニングとは、実施上の原則、有効性の指標〕、情報収集方法〔情報の種類と調査法〕（鳥居）								
7回	疫学的研究方法（1）〔記述疫学と分析疫学、横断研究と生態学的研究〕（岡田*）								
8回	疫学的研究方法（2）〔症例対照研究、コホート研究〕（岡田*）								
9回	疫学的研究方法（3）〔介入研究、疫学研究と倫理〕（岡田*）								
10回	感染症の疫学（1）〔基礎概念、流行、三大要因とその対策、主要感染症〕（鳥居）								
11回	感染症の疫学（2）〔アウトブレイク時の調査と対応〕（鳥居）								
12回	生活習慣病の疫学（1）〔脳血管疾患と心疾患の疫学、その相異点〕（丸山*）								
13回	生活習慣病の疫学（2）〔がんの疫学〕（岡田*）								
14回	生活習慣病の疫学（3）〔糖尿病・高脂血症の疫学、若者の疫学、ほか〕（岡田*）								
15回	その他事象の疫学〔トピックス〕（丸山*）								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
岡田非常勤講師担当分野30%、丸山非常勤講師担当分野15%、鳥居担当分野45%、受講態度10%と配点し、総得点で評価する。60点以上を合格とする。									
教科書	日本疫学会「はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第3版」（南江堂）								
参考図書等	辻一郎ほか「シンプル衛生公衆衛生学2023」（南江堂）、柳川洋・坂田清美「疫学マニュアル」（南山堂）、車谷典男ほか「疫学・保健統計」（建帛社）								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
時間内に終了しなかった演習課題を宿題にする場合がある。各項目が積み重ねとなるので、理解のための復習が必要。									
関連科目									
前科目	170 公衆衛生学(共通)								
後科目	117 実践と研究	171 公衆衛生学実習							
実務家教員									
医師（行政機関）	岡田 克俊*								
備考									